

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) ハンナンダイガク	フリガナ) ケイエイジョウホウガクブ	フリガナ) キクチゼミ
阪南大学	経営情報学部	菊池ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) サクシード	フリガナ) マツシタユウダイ	4	無
サクシード	松下祐大		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

マイク プロジェクター

研究テーマ（発表タイトル）

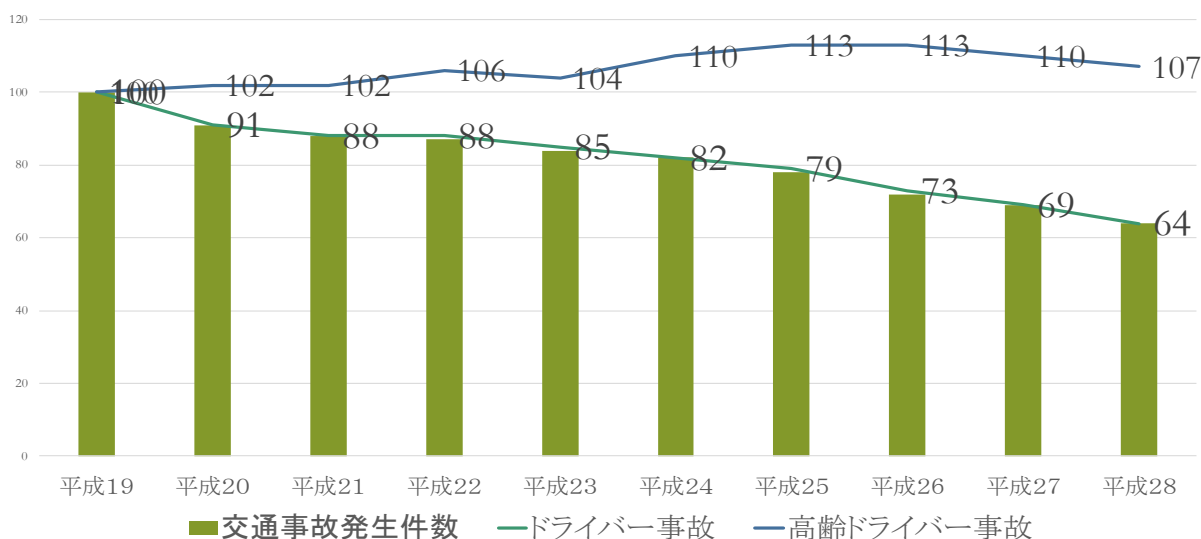
高齢者の事故への対策 ―運転免許自主返納サポート制度の推進―

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、交通事故の全体の件数は減少している。しかし、高齢者が原付以上運転中で第1当となった事故件数が、年々増加している（図表1）。高齢者の事故を減らすためには、できる限り多くの高齢者から免許を返納してもらわなければならない。高齢者への運転免許自主返納制度の認知度を高めるとともに、効果的なサポート内容について提案する。

図表1 交通事故発生件数

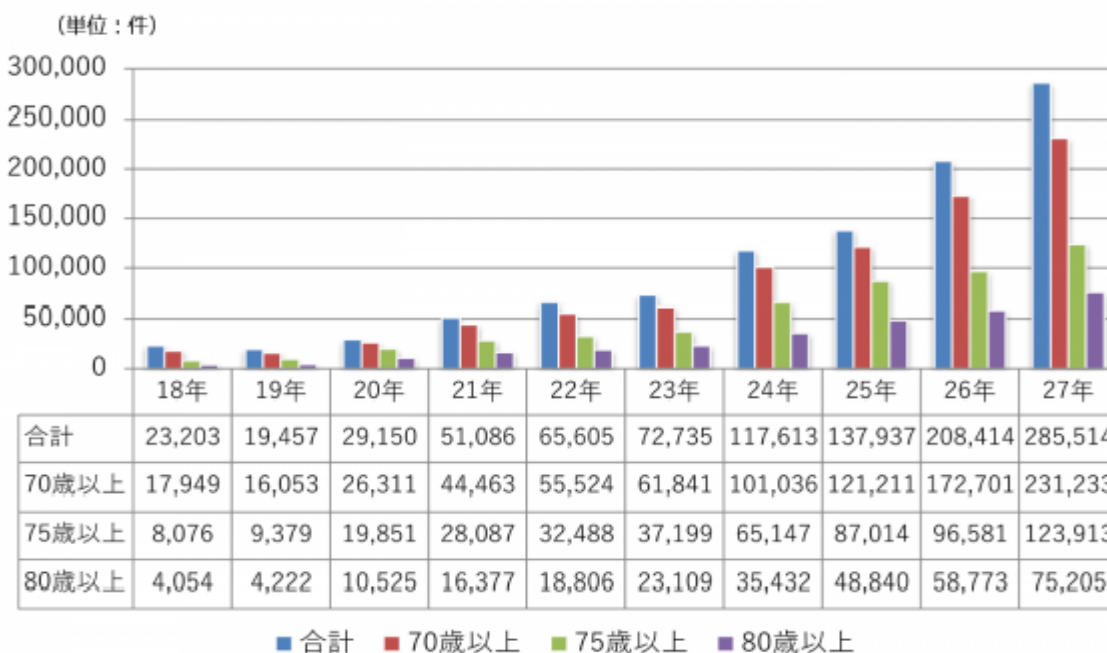


出所) 大阪府 HP「高齢者運転免許自主返納サポート制度について」(閲覧日: 2017年7月24日)

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

近年、急激に高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増えている。そして、移動手段としてはバスや電車の廃線などで、自車を運転する高齢者ドライバーが存在する。それに伴い、近年、高齢者ドライバーによる事故が増加傾向にあり、1998年から運転免許自主返納制度が実施され、平成18年から10年間で返納数が12倍に増加している。

図表2 高齢者による運転免許の自主返納者数



参考: 警視庁の運転免許統計

3. 研究テーマの課題

総務省の平成28年度の調査では、高齢者人口が3,461万人もあり、総人口に占める割合は27.3%である。高齢者人口は、前年より、77万人、人数は0.6%も多くなっている。高齢者全体の人口のうち、平成18年の自主返納者数の割合は0.87%であり、平成27年においても8.4%しか返納されていない。本研究の課題は、返納率を上げることである。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちが提案する課題解決策は2つである。①サービス内容の認知度を上げること、②サービスの内容を効果的なものにする
ことである。①としては、免許返納制度やそのサービスについての広告やパンフレットを高齢者に見てもらおう。具体的には、市町村
の広報や回覧板で伝達したり、運転免許自主返納制度に関する説明会を開催したりする。免許を返納しても、移動手段や生
活物資に関するサポートがあることを知ってもらうようにする。②としては、交通機関に関するサポートを充実させる。これまで不十
分であった電車に着目したサービスを提案したい。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

2017年4月～6月 文献調査・文献読解（詳細は参考文献）

2017年7月13日 大阪府都市整備部交通道路室、ヒアリング調査

2017年10月～現在 発表資料の作成

6. 結果や今後の取り組み

高齢者の運転免許自主返納者数が増加しているものの、返納率は低く、高齢者による事故は増加していた。今後の取り組
みとしては、各都道府県や企業が丸となって、自家用車の代用となる公共交通機関の利用の負担軽減や日常生活における
サービスを強化するべきである。

7. 参考文献

- (1) 大阪府ホームページ (<http://www.pref.osaka.lg.jp/dorokankyo/anzen/zisyuhennou.html>)
- (2) 介護の123 (<https://kaigo123.net/>)
- (3) 警察庁「運転免許証の自主返納に関する アンケート調査結果」
(<https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/koureiunten/kaigi/3/siryoh/shiryo4.pdf>)
- (4) 警視庁ホームページ (<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/index.html>)
- (5) 総務省統計局ホームページ (<http://www.stat.go.jp/data/topics/topi971.htm>)
- (6) 二宮芳樹（2016）「運転支援と自動運転による高齢者社会の活性化」『日立総研』11
- (7) 矢橋昇（2016）「高齢歩行者の交通安全一事故防止に向けての課題—」『JAMAGAZINE』。

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に
変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさ
せていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りません。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も
同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑